

平成29年度大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	近畿大学	タイプ・国名	A・ロシア
事 業 名	日露間で活躍できるモノづくり中核人材の育成		
海外の相手大学	モスクワ国立大学、ドゥブナ大学、ITMO 大学、チュメニ大学、極東連邦大学、サンクトペテルブルグ国立大学、ファイナンシャル大学、モスクワ工業物理大学 (MEPhI)		

〔評価コメント〕

本事業計画は、貴学の建学の精神のひとつである「実学教育」という実学重視の方針と合致し、貴学がこれまでに積み重ねてきた成果は広く社会に知られており、これらを基にしてロシア人学生のものづくりに対する力を伸ばそうという明確な目的設定は、高く評価できる。

また、モスクワとサンクトペテルブルクに本事業の推進拠点として事務所を設置すること、ロシア人学生をインターンとして受け入れる日本企業に研究開発費を支給する制度を予定していること、事業経費の大学負担率が高いこと、学長をはじめとする事務局の体制が整備されている点は評価できる。

一方、ロシア人学生は製造業よりも金融、サービス等いち早く利益を上げられる部門での就職を望む傾向がみられることから、ロシア側のニーズを踏まえて事業を実施していくことが求められる。

また、貴学は約3万人の学生を有しながら外国人留学生数は1%程度と低いこと、ロシアとの交流実績が最近のものに限られていること、単位互換制度や単位認定システムの整備が不明確であること、ロシア人学生のためのコースワークに関して貴学の学生と共同で学べるよう設計されているようには見受けられない点については、今後対応が求められる。更に、ロシア留学を希望する日本人学生を十分に確保するための方策や、英語力の担保をどのようにしていくのか、その対応方法を明確にする必要がある。併せて、派遣された日本人学生への現地でのサポート体制の整備についても更なる工夫が求められる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。